

調査結果と授業改善のポイント〔中学校・英語〕

英語については生徒の平均正答率が62.8%であり、全国平均より3.2ポイント下回っている。領域では「書くこと」では3.9ポイント、評価の観点では「外国語表現の能力」4.2ポイント、出題形式では「記述式」4.1ポイント下回り特に課題が見られる。昨年度と比較すると、県の平均正答率は2.3ポイント上昇をしているが、全国平均との間にはひらきがある。

対象生徒数	設問数	平均正答率(県)%	平均正答率(全国)%	全国との差
840人	35問	62.8	66.0	-3.2

種別		対象設問数	平均正答率(県)%	平均正答率(国)%	全国との差
領域	聞くこと	10	74.3	76.6	-2.4
	読むこと	12	61.8	65.0	-3.2
	書くこと	13	54.8	58.7	-3.9
単元等	リスニング(内容理解)	6	89.3	89.3	0
	リスニング(対話文の応答)	4	51.9	57.9	-6.0
	語形・語法の知識・理解	4	52.0	56.1	-4.1
	語彙の知識・理解	4	61.1	64.4	-3.3
	さまざまな英文の読み取り	4	72.6	74.8	-2.2
	長文の読み取り	4	60.8	64.3	-3.5
	単語の並びかえによる英作文	4	57.0	61.4	-4.4
	場面に応じて書く英作文	2	32.1	40.7	-8.6
3文以上の英作文	3	58.8	59.8	-1.0	
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	20	65.6	68.5	-2.9
	外国語表現の能力	5	46.1	50.3	-4.2
	外国語理解の能力	18	70.9	73.5	-2.6
	言語や文化についての知識・理解	12	56.7	60.6	-3.9
解答形式	選択式	20	72.8	75.5	-2.7
	短答式	9	53.9	57.9	-4.0
	記述式	6	42.7	46.8	-4.1

【領域・単元ごとの状況】

○: 全国正答率を上回っている問題(上位3題)
 ▼: 全国正答率を下回っている問題(下位3題)
 ()内の数値は県と全国の平均正答率の差

〈聞くこと〉

- 絵を適切に表している英文を聞き取る設問 (使う目的) (+2.0)
- 絵を適切に表している英文を聞き取る設問 (天気・寒暖) (+0.9)
- 英文の要点を聞き取る設問 (どんなときわくわくするか) (+0.6)
- ▼対話の内容を聞き取り、適切に応答する設問 (許可) (-8.3)
- ▼対話の内容を聞き取り、適切に応答する設問 (依頼) (-7.3)
- ▼対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答える設問 (資料をもとに英語で答える) (-4.4)

〈読むこと〉

- ▼語形・語法の理解をはかる設問 (不定詞) (-7.8)
- ▼スピーチの要点を把握する設問 (-4.8)
- ▼スピーチの内容をふまえた感想を書く設問 (-4.7)

〈書くこと〉		
○テーマに沿って3文以上で書く設問		(+1. 0)
○英文を正しい語順で書く設問 (There are. の疑問文)		(+0. 5)
▼英文を正しい語順で書く設問 (more を使った比較の文)		(-9. 7)
▼英語で説明する文を書く設問 (動名詞や不定詞)		(-8. 7)
▼英語で説明する文を書く設問 (比較表現)		(-8. 4)

【授業改善のポイント】

<p>〈聞くこと〉</p> <p>□聞き取った英語に対して応答する活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語での質問に対して適切に答える活動を日常的に行う。 ・聞き取った事柄について内容を確認するため、Q&A (Yes/No Question, 5W1H) や T/F Question などの活動を取り入れる。 <p>〈読むこと〉</p> <p>□まとまりのある英文から大切な部分を読み取り、情報を整理したり、内容をまとめたりする活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時を表す言葉や代名詞が表すものなど、内容を読み取るためのポイントとなる事柄を明確にし、それらに意識させながら英文を読む活動を行う。 ・読み取った内容を確認する活動では、Q&A (Yes-No Question, 5W1H) や T/F Question や要約の空所補充など英語を用いて行う活動を取り入れる。答え合わせの際には、テキストを読み直して答えとなる根拠を確かめる学習活動を取り入れる。 <p>〈書くこと〉</p> <p>□意思や考えを英語で書いて相手に伝える活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語材料の定着のための言語活動と、自分の考えや気持ちを伝え合うコミュニケーションのための言語活動の両者が相互補完的に機能するようにバランスよく配置し、話したり聞いたりしたことを書くことによって表現できる力を育成する。 ・コミュニケーションのための言語活動として、具体的な場面設定をし、時系列に英語で書いて説明したり、あるテーマについての自分の考えや気持ちを複数の英文で書いて表現したりする活動を単元目標に設定して実践する。その際、書いて表現するための英文のモデルを提示しそれを活用させたり、メモすることで表現する内容を整理させたりする学習活動を段階的に取り入れる。
--

【正答率の高い設問】 上位3題

No	問題の内容	正答率 (%)
1	絵を適切に表している英文を聞き取る設問 (天気・寒暖)	98. 6
2	絵を適切に表している英文を聞き取る設問 (使う目的)	98. 3
3	英文の要点を聞き取る設問 (ギターを弾くことの感想)	92. 7

【正答率の低い設問】 下位3題

No	問題の内容	正答率 (%)
1	語形・語法の理解をはかる設問 (不定詞)	13. 0
2	スピーチの内容をふまえた感想を書く設問	13. 2
3	対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答える設問	15. 9

【無解答率の高い設問】 上位3題

No	問題の内容	無解答率 (%)
1	対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答える設問	32. 0
2	スピーチの内容をふまえた感想を書く設問	22. 0
3	英語で説明する文を書く設問	20. 2

